## 編集後記

本年2月18日，天皇陛下が冠動脈バイパス手術を受けられました．手術は無事終了し，手術後の回復も順調でほぼ予定通りの手術後15日目の3月4日に退院されました．私も国民の一人として手術が無事終わられたことに心から安堵し，予定通り退院されたことに心から嬉しく思いました．手術後の医師団の会見では術後早期からリハビリテーションを行うことが強調され，「心臓病でもリハビリをするのか」と驚かれた一般市民も少なくなかったと思います．また，全国の理学療法士も，陛下が身をもって心臓外科手術後のリハビリテーションの重要性をお示しになったことに感謝し，心臓リハビリテーション分野での国民からの期待を感じたことも多かったことと思います．天皇陛下は1999年のWCPT学会横浜大会の開会式に出席され，「理学療法が今後とも急速な医学の進歩の成果を取り入れながら，人々の生活の質を向上させるためにさらに貢献していくよう願っております」とのお言葉を頂戴しています．さらなる回復をご祈念申し上げたいと存じます．

さて，今回の特集は「心疾患に対する理学療法の新たな展開」です．今秋に更新される予定の新しいガイドラインの使用法についてガイドライン班長の野原隆司先生が理学療法士への檄文とともに解説しています．エンドユーザーの理学療法士はガイドライン（治療指針）の本質を読み解き正確に使用する責務があります．和温療法は物理療法の一つの温熱療法ですが，今では「Waon Therapy」と呼ばれ，患者の予後にも影響するとして，世界中から注目されています．補助人工心臓の進歩も著しく，これからは人工心臓を植え込んで自宅へ退院する患者も増えてくることと思います．心臓外科手術や周術期管理の進歩はめざましく，その進歩の中で新しい理学療法士の役割を確立しなければなりません．早期離床は腸管運動を促通しないことも報告されており，もはやただ早く起こせばいいという時代ではありません．電気刺激療法にも新たな可能性が見えてきました．病院の機能分化と強化，在宅医療体制の強化の社会的流れの中で，心疾患を在宅で診ることも必ず多くなってきます．一方で，心臓リハビリテーションは未だに理学療法士の中ではマイナーで，先輩方が「背中」で示すどころか，拒絶することもあり，急性期病院の中で未だに市民権を得ているとは言えません．陛下が身をもって心臓リハビリテーションの重要性を示された今こそが，理学療法士が心臓リハビリテーション分野で活躍を広げられる絶好のチャンスであることを先輩理学療法士は自覚すべきです．

心不全患者は重症になればなるほど悪液質を示す患者も少なくなく，重症者ほど理学療法に難渋します．若林先生執筆の入門講座「栄養と理学療法」がタイミングよく同号に掲載されており，心疾患の理学療法には幅広い視点をもつことの重要性が強調されています．

天皇陛下を執刀された順天堂大学医学部心臓血管外科の天野篤教授は，手術後の会見で「成功かどうかの判断は，陛下が術前に希望された公務，日常の生活を取り戻される時期．国民の皆様もそのときを楽しみにしてほしい」と話されていました．自分の手術を自慢するのでなく，公務や日常生活の再獲得（リハビリテーション）こそが手術の成功である，との言葉はまさに「プロフェッション」，感動しました．（高橋哲也）


**理学療法ジャーナル**

（第46巻 第9号）

2012年9月15日発行（毎月1回15日発行）

**定価 1,890円（本体 1,800円＋税 5%）**

2012年 年間購読料（税込み，配送料弊社負担）冊子のみ 20,880円，冊子＋電子版/個人 23,880円，冊子＋電子版/共有 27,200円，電子版/個人 20,880円，電子版/共有 24,100円

E-mail：ptj@igaku-shoin. co. jp

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通（03）3817-5704

（担当：前野・川上・山崎）

販売部直通（03）3817-5659・5660

広告室直通（03）3817-5696

ファクシミリ（03）3815-7802

振替口座 00170-9-96693番

印刷所 三報社印刷㈱ ☎（03）3637-0005

広告申込所 ㈱医薬広告社 ☎（03）3814-1971



・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2012, Printed in Japan

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は㈱医学書院が保有しています．

・本誌を無断で複製する行為（複写，スキャン，デジタルデータ化など）は，「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています．大学，病院，診療所，企業などにおいて，業務上使用する目的（診療，研究活動を含む）で上記の行為を行うことは，その使用範囲が内部的であっても，私的使用には該当せず，違法です．また私的使用に該当する場合であっても，代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります．

・JCOPY ＜㈳出版者著作権管理機構委託出版物＞
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています．複写される場合は，そのつど事前に㈳出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969，FAX 03-3513-6979，e-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください．



●編集顧問●

安藤徳彦　上田敏　大川弥生　高橋正明　奈良勲　福屋靖子

（五十音順，以下同じ）

●編集委員●

網本和　内山靖　金谷さとみ　斉藤秀之　高橋哲也　鶴見隆正　永冨史子　福井勉　横田一彦　吉尾雅春

●編集同人●

伊藤俊一　伊藤義広　稲員恵美　伊橋光二　上田陽之　大場みゆき　大峯三郎　岡西哲夫　沖田実　小塚直樹　日下隆一　工藤俊輔　酒井桂太　佐藤秀一　関屋昇　富樫誠二　冨田昌夫　長澤弘　長野由紀江　中村春基　丹羽義明　濱出茂治　備酒伸彦　深浦順一　福田恵美子　二木淑子　星文彦　前田哲男　牧田光代　丸田和夫　丸山仁司　諸橋勇　山田英司　横山有里


©IGAKU-SHOIN Ltd, 2012



2026/10/08 10:00:54